



---

# 大規模展示場の整備について

～首都圏に並ぶ交流拠点に向けて～

# 1 調査結果について

## (1) 調査の内容

### ① 調査業務内容

調査名	目的	委託期間	委託料	受託者
国際観光都市 推進事業調査 (27年度当初)	・ 技能五輪国際大会等の本県誘致を見据えて10万㎡程度のコンベンション施設について調査を実施	平成27年5月 ～12月	6,000千円	三菱UFJリサーチ& コンサルティング(株)
大規模展示場 整備基本構想調査 (27年度9月補正)	・ 大規模展示場の整備に係る検討を加速し、今年度中に基本構想の策定を行っていくための調査を実施	平成27年10月 ～平成28年3月	29,700千円	(株)日本総合研究所

### ② 調査の概要

#### < 展示会を取り巻く状況 >

- 海外では経済成長著しいアジアを中心に大規模な展示場の整備が進められる一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定で日本への関心が高まっていく中、首都圏の主要な展示場である東京ビッグサイトは既に高い稼働率となっている。

#### < 検討課題 >

- 大規模展示場の整備に向けて、①国際的な展示会や大規模イベントといった国内外の需要の見通し、②それに伴い必要となる規模や機能、③主要駅や空港、ホテル等のアクセス、商業・宿泊施設などの立地可能性に係る検討が必要

## (2) 展示会産業の現状

### ① 本県のMICEを取り巻く状況

- 本県は、日本一の産業県として日本経済を支えリードしてきたところであるが、展示会や国際会議などMICEを取り巻く状況は、ハード・ソフトの両面で東京・大阪に比べ劣位となっている。

#### <国内の主な展示施設の一覧(面積順)>

出典:愛知県振興部調べ

施設名	所在都府県	ホール数	展示面積
東京ビッグサイト	東京都	10	80,660㎡
幕張メッセ	千葉県	12	72,000㎡
インテックス大阪	大阪府	10	70,078㎡
ポートメッセなごや	愛知県	3	33,946㎡
パシフィコ横浜	神奈川県	4	20,000㎡
福岡コンベンションセンター	福岡県	3	14,000㎡

#### <展示会開催状況(2014年)>

順位	都市名	開催件数
1	東京都	327
2	千葉県	52
3	大阪府	51
4	神奈川県	35
5	愛知県	20
6	福岡県	11

出典:(株)ピーオーピー「展示会データベース」

#### <国際会議開催状況(2014年)>

順位	都市名	開催件数
1	東京都	565
2	福岡県	411
3	大阪府	253
4	京都府	211
5	神奈川	208
6	愛知県	179

出典:日本政府観光局「2014年国際会議統計」

## ②世界の状況

- 世界の総展示場面積は、欧州が最大であるが、アジア太平洋が北米に迫る勢い
- アジアでは、中国を中心に韓国などにおいても大規模展示場を新設・拡張する傾向がある。
- アジアにおける展示会開催件数は、中国や韓国が増加傾向にある一方、日本は大幅な増減が見られない。

### <世界の展示場規模別ランキング>

出典：(一社)日本展示会協会資料等より作成

順位	会場名	面積(万㎡)	国・都市	備考
1	ハノーバー国際見本市会場	46.6	ドイツ・ハノーバー	—
2	中国博覧会会展総合体	40.3	中国・上海	2015年開業
3	フランクフルト見本市会場	35.6	ドイツ・フランクフルト	—
4	フィエラ・ミラノ国際見本市会場	34.5	イタリア・ミラノ	—
5	中国出口商品交易会琶洲展示館	33.8	中国・広州	2002年開業、2008年拡張

(以下、中国以外のアジアを抜粋)

28	インパクト	14.0	タイ・バンコク	2000年開業、2006年拡張
48	シンガポール・エキスポ	10.9	シンガポール	1999年開業
50	キンテックス	10.8	韓国・高陽	2005年開業、2011年拡張

### <アジアにおける展示会開催件数>

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
日本	528件	692	721	621	603	611	573	610	655
中国	3,800件	4,320	4,270	4,490	4,920	6,200	6,830	7,189	7,316
韓国	336件	353	354	409	422	479	553	—	—

出典 日本：(株)ピーオーピー、中国：中国国貿促、韓国：韓国見本市主催者協会

### ③日本の状況

- 東京オリンピック・パラリンピックの日本開催決定により国際的にも日本への注目が高まる一方で、首都圏の主要な展示場がメディアセンターや競技会場等として一定期間閉鎖され、我が国として展示場が不足する事態が想定される。
- こうした中、(一社)日本展示会協会からは、展示会の中止による社会経済への影響の危惧から、全展示会が例年通り開催できることを望む「公式声明文(平成27年11月16日付け)」が公表されている。

#### <今後の東京ビッグサイトの利用可能な総展示面積>

出典:愛知県振興部調べ

時期		総展示面積	備考
現在		80,660m <sup>2</sup>	—
2016年	秋頃～	約96,660m <sup>2</sup>	東新展示場の整備(約16,000m <sup>2</sup> )
2019年	4月～	約29,000m <sup>2</sup>	東ホール(51,380m <sup>2</sup> )・東新展示棟の閉鎖
2020年	1月～	約49,000m <sup>2</sup>	西拡張棟の整備(約20,000m <sup>2</sup> )
	4月～	全館閉鎖	—
	11月～	約49,000m <sup>2</sup>	西ホール(29,280m <sup>2</sup> )・西拡張棟の再開
	12月～	約116,000m <sup>2</sup>	全館再開

### (3) 展示会のニーズについて

#### ① 開催規模

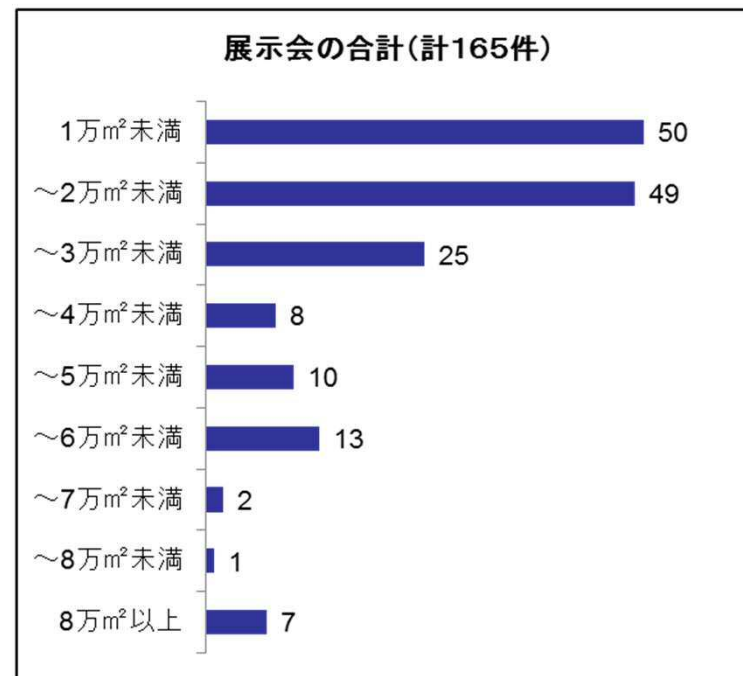
- 国内の主要展示場のうち、展示会が多く開催されているのは東京ビッグサイトのみであり（年間利用件数の約5割）、他の施設では展示会よりもイベントやコンサートなどの開催件数が多くなっている。
- 展示会の開催規模は、3万㎡未満のものが一般的であるが（全体の7割）、大規模な展示会の場合は約4～6万㎡程度が中心であり（同2割）、それ以上のものは少ない（同1割）。

#### <主要展示場における年間利用件数(2015年)>

施設名	年間利用件数(2015年)		
	合計	うち展示会	うち その他
東京ビッグサイト	198件	104件	94件
幕張メッセ	121件	18件	103件
インテックス大阪	106件	29件	77件
ポートメッセなごや	61件	14件	47件

注：各施設HPのイベント情報よりカウント  
複数展示会を同時開催するものは1件としてカウント  
「その他」にはイベント、コンサートなどが含まれる

#### <主要展示場における開催規模別の件数(2015年)>



## ②-1 収支シミュレーション(6万㎡を想定)

- ローコストオペレーションを徹底した場合、開業安定期となる4～5年目に約30%前後の稼働率で収支均衡が見込まれる。
- 6万㎡とした場合、収支均衡させるには、4万㎡規模の大規模展示会を、少なくとも月1回(年間12件)開催する必要がある。

＜収支均衡時の月間催事開催イメージ(展示面積6万㎡)＞

		月	火	水	木	金	土	日	
第1週	ホール1						販促会開催		
	ホール2					(準備)			
	ホール3								
	ホール4								
	ホール5								
	ホール6								
第2週	ホール1								
	ホール2	(準備)	中型・大型の見本市・展示会開催						
	ホール3								
	ホール4								
	ホール5								
	ホール6								
第3週	ホール1						大型の販促会開催		
	ホール2				(準備)				
	ホール3								
	ホール4								
	ホール5								
	ホール6								
第4週	ホール1		(準備)	小型の見本市・展示会開催					
	ホール2								
	ホール3								
	ホール4						(準備)	コンサート	
	ホール5								
	ホール6								

4万㎡規模の大規模展示会を月1件(年間12件)開催する必要

## ②-2 収支シミュレーション(8万㎡を想定)

- 8万㎡とした場合、収支均衡させるには、展示面積6万㎡のケースに加えて、全館利用(8万㎡規模)する日本最大規模の展示会を、少なくとも年間4件開催する必要がある。

### <収支均衡時の月間催事開催イメージ(展示面積8万㎡)>

		月	火	水	木	金	土	日						
第1週	ホール1						販促会開催							
	ホール2					(準備)								
	ホール3													
	ホール4													
	ホール5													
	ホール6													
第2週	ホール1	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; border: 2px solid black; border-radius: 10px; display: inline-block;">                     8万㎡規模の大規模展示会を少なくとも年間4件開催する必要                 </div>												
	ホール2								(準備)	中型・大型の見本市・展示会開催				
	ホール3													
	ホール4													
	ホール5													
	ホール6													
第3週	ホール1						大型の販促会開催							
	ホール2					(準備)								
	ホール3													
	ホール4													
	ホール5													
	ホール6													
第4週	ホール1		(準備)	小型の見本市・展示会開催										
	ホール2													
	ホール3													
	ホール4						(準備)	コンサート						
	ホール5													
	ホール6													



### ③経済効果

- 主要展示場における1年間の経済効果は、東京ビッグサイトは8,225億円、幕張メッセは3,614億円に上っている。
- 新たな大規模展示場の施設規模を6万㎡とした場合、経済効果の試算値は約1,500億円/年間となる。

#### <主要展示場における経済効果>

	東京ビッグサイト		幕張メッセ		ポートメッセなごや	
	全国	うち東京都内	全国	うち千葉県内	愛知県内	うち名古屋市内
経済波及効果	8,225億円	4,925億円	3,614億円	970億円	803億円	618億円
雇用創出効果	—	—	29,579人	7,269人	5,400人	4,200人

注：東京ビッグサイトは平成24年度、幕張メッセは平成18年度、ポートメッセなごやは平成25年度の数値

#### <経済効果の考え方>

- ・観光庁モデルを利用
- ・施設規模6万㎡を想定
- ・稼働率は収支均衡を見込む約30%と想定(開業安定期となる4~5年目)

年間来場者数(想定)	経済波及効果(全国)
251万4千人	1,490億円/年間

## (4) 展示場の建物スペック

- 国内の主要展示場は、大規模な展示会にも対応できるように、1ホールあたりの面積が約7,000～10,000㎡程度となっている。
- 天井高は12m以上、床荷重は5t/㎡であれば、重機など大型展示物への対応も可能

### <国内の主要展示場の施設概要>

	東京ビッグサイト		幕張メッセ		パシフィコ横浜		インテックス大阪		ポートメッセなごや	
展示面積	80,660㎡		72,000㎡		20,000㎡		70,078㎡		33,946㎡	
1ホールあたり面積	東1ホール	西1ホール	ホール1	ホール9	ホールA	ホールB	1号館	6号館A	2号館	3号館
	8,670㎡	8,880㎡	6,750㎡	9,000㎡	3,300㎡	6,700㎡	5,087㎡	9,680㎡	6,576㎡	13,500㎡
天井高	17～31m	12m	15～30m	16～34m	13～19m	13～19m	12m	11.7m	12.5m	10～15m
床荷重	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡	5 t/㎡

注：1ホールあたり面積、天井高、床荷重は代表的なホールを抽出

出典：(株)ピーオーピー「全国会場Navi2015年版」

## (5) 展示場の立地条件

### ① 国内事例

- 国内の主要展示場は、いずれも拠点駅から約30～40分以内のエリアに立地している。  
また、一部を除いて、最寄りの高速道路ICから約5分以内のエリアに立地している。
- ポートメッセなごやを除き、いずれも徒歩圏内にホテルが立地している。

#### <国内の主要展示場の立地状況>

	東京ビッグサイト	幕張メッセ	パシフィコ横浜	インテックス大阪	ポートメッセなごや
鉄道アクセス	東京駅より約34分 (JR・りんかい線計27分 徒歩7分)	東京駅より28分 (JR(特急)23分 徒歩5分)	新横浜駅より16分 (JR・みなとみらい線計13分 徒歩3分)	新大阪駅より約38分 (JR・地下鉄計33分 徒歩5分)	名古屋駅より29分 (あおなみ線24分 徒歩5分)
道路アクセス	台場IC、臨海副都心IC 、有明ICより約5分	湾岸習志野IC、湾岸 千葉ICより約5分	みなとみらいIC より約3分	南港北IC より約8分	名港中央IC より約5分
主な 周辺ホテル	・東京ベイ有明ワシントン ホテル(830室) ・ホテルサンルート有明 (790室) ・ホテルトラスティ東京ベ イサイド(200室)	・ホテルニューオータ ニ幕張(418室) ・ホテル・ザ・マンハッ タン(130室) ・ホテルグリーンタ ワー幕張(205室)	・ヨコハマ・グランド・イン ターコンチネンタルホテ ル(594室) (他にリゾートトラスト系ホ テル(275室)を建設中)	・ハイアットリージェン シー大阪(500室)	なし

注:東京ビッグサイトの鉄道アクセスには「ゆりかもめ」のルートもあり、東京駅からは36分(JR・ゆりかもめ計33分、徒歩3分)

出典: (株)ピーオーピー「全国会場Navi2015年版」



## ②海外事例

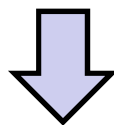
- 海外の主要展示場には、MICEの特徴である国外からのアクセス利便性を重視して、国際空港に隣接している事例がある。

### <海外の主要展示場のうち空港隣接型の事例>

施設名	所在地	展示面積	空港からのアクセス
アジア・ワールド・エキスポ	香港	7.0万㎡	香港国際空港から鉄道で5分
シンガポール・エキスポ	シンガポール	10.9万㎡	チャンギ国際空港から鉄道で5分
パリ・ノールヴィルパント	フランス	24.3万㎡	シャルルドゴール空港から鉄道で5分

### ③大規模展示場に求められる立地条件

- 大規模展示場は国内外から多くの集客につながる施設であるため、新幹線拠点駅及び空港からのアクセス利便性が最も重視される。
- 展示会の出展者・来場者には、準備から開催期間にかけて多くの宿泊需要が見込まれるため、近隣には一定規模以上の宿泊施設が必要
- アフターコンベンションとして、展示会の魅力を高めるため、展示会の開催都市及びその周辺エリアに観光地が必要
- 限られた期間で展示場の整備を行うためには、用地取得が容易であることが必要。また、将来の展示場拡張が可能となるよう、周辺に一定規模以上の用地があることが望ましい。



以上の条件を検証するため、愛知県内を5エリアに設定して検証



## ④県内各エリアの検証結果

### <県内各エリアの検証結果>

名古屋	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通アクセス、宿泊容量、周辺観光地が他エリアと比べて高い。</li><li>・大規模な用地を迅速に取得することが難しい。</li></ul>
尾張	<ul style="list-style-type: none"><li>・名古屋駅及び空港への交通アクセスが高い。</li><li>・宿泊容量が他エリアと比べて低い。</li></ul>
知多	<ul style="list-style-type: none"><li>・空港島内は交通アクセス、宿泊容量、周辺観光地、用地取得可能性のいずれもバランス良く満たしている。</li></ul>
西三河	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺観光地が充実しており、用地取得可能性も高い。</li><li>・宿泊容量や空港への交通アクセスが他エリアと比べると低い。</li></ul>
東三河	<ul style="list-style-type: none"><li>・宿泊容量が高く、用地取得可能性も高い。</li><li>・空港への交通アクセスが他エリアと比べると低い。</li></ul>



## (6) 調査結果のまとめ

- ① 現在、展示会は東京ビッグサイトなど首都圏に集中しているが、今後、我が国の経済成長に伴って需要が拡大する見通しがあり、産業集積を有する本県においては新たな展示会の開催可能性がある。
- ② 展示場のスペックについて、大規模展示会を開催するためには一定水準の規模が必要となるが、整備にあたっては公共側の負担が大きいため、必要最低限の水準となるよう検討が必要
- ③ 立地条件について、拠点駅からの鉄道アクセスに加え、空港や高速道路からのアクセス、ホテルや商業施設の立地状況、将来の立地可能性など周辺環境の機能が必要。また、用地取得の容易性や将来の拡張可能性を考慮する必要がある。

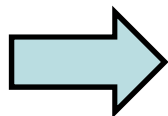
→ 上記を踏まえて、本県における大規模展示場の整備を検討



## 2 愛知県における大規模展示場の整備について

### (1) MICE開催地としての本県の強み

- 本県は国際空港であるセントレアや、新東名高速道路を始めとする高規格道路網など充実した交通インフラを有する。
- 日本経済を牽引する世界でも有数の産業集積地であり、自然科学分野を中心に6名ものノーベル賞受賞者を輩出した頭脳集積地でもある。
- このため、広くアジアを見渡しても、MICEの最適な開催地となるための極めて高いポテンシャルを持っている。
- 将来的な展示会需要の増加や、本県における展示会の潜在的な需要が予想され、大きな経済波及効果も期待できる。



産業首都 愛知の新たな交流・イノベーション拠点となる  
大規模展示場を2020年までに新設





## (2) 大規模展示場の概要

### 【コンセプト・目的】

- ・MICEの開催による新たなビジネスマッチングの機会を創出
- ・企業や研究機関の誘致や、新たな交流によるイノベーションの創造
- ・セントレア周辺との相乗効果による国内外から人を呼び込む集客拠点

### 【施設規模】

約6万㎡

### 【概算建設費】

約300億円＋付帯工事等

※財源として、有料道路コンセッション事業の一時金収入150億円を  
充てられるよう制度改正を国に要請

### 【建設予定地】

空港島(常滑市)

### 【開業時期】

2019年秋頃

### 【経済波及効果】

年間で約1,500億円

# ①施設整備の考え方

- 展示施設の規模は、国内で開催されている大規模な展示会の開催が可能となる6万㎡とし、付帯設備として会議室や駐車場を併せて整備
- 建物仕様は必要最低限のものとし、整備費は倉庫レベルの水準を目指すとともに、発注方式に関しても整備費を削減できる方策を引き続き検討
- 東京オリンピック・パラリンピックの影響により首都圏での開催が困難となる展示会需要の取り込みを図るため、2019年秋頃の開業を目指し、短期間で整備するために県直轄により整備

## <建物仕様のイメージ>

ショッピングセンター	倉庫	国際展示場
		
グレード低		グレード高
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱が多数ある</li> <li>・必要最低限の設備のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱がある</li> <li>・必要最低限の設備のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無柱空間のホールが多い</li> <li>・音響設備、可動式間仕切りなど有</li> </ul>

## ②空港島の優位性

- MICE開催に求められる国内外からのアクセスを最重視して、中部国際空港に直結し、鉄道や車でのアクセスが容易な空港島エリアとする。
- 同エリアは、就航便数の増加や有料道路コンセッションの導入による一層の集客が見込まれるとともに、今後の展示会需要の動向によっては、約2～4万㎡程度の展示場面積の拡張が可能となる十分な敷地があるため、国際交流拠点としての高いポテンシャルを有する。
- 2019年秋頃の開業に向けて、県有地であるため速やかな事業着手が可能であり、また常滑市を含む近隣5市からの要望もあり、地元住民の理解も得られやすい。

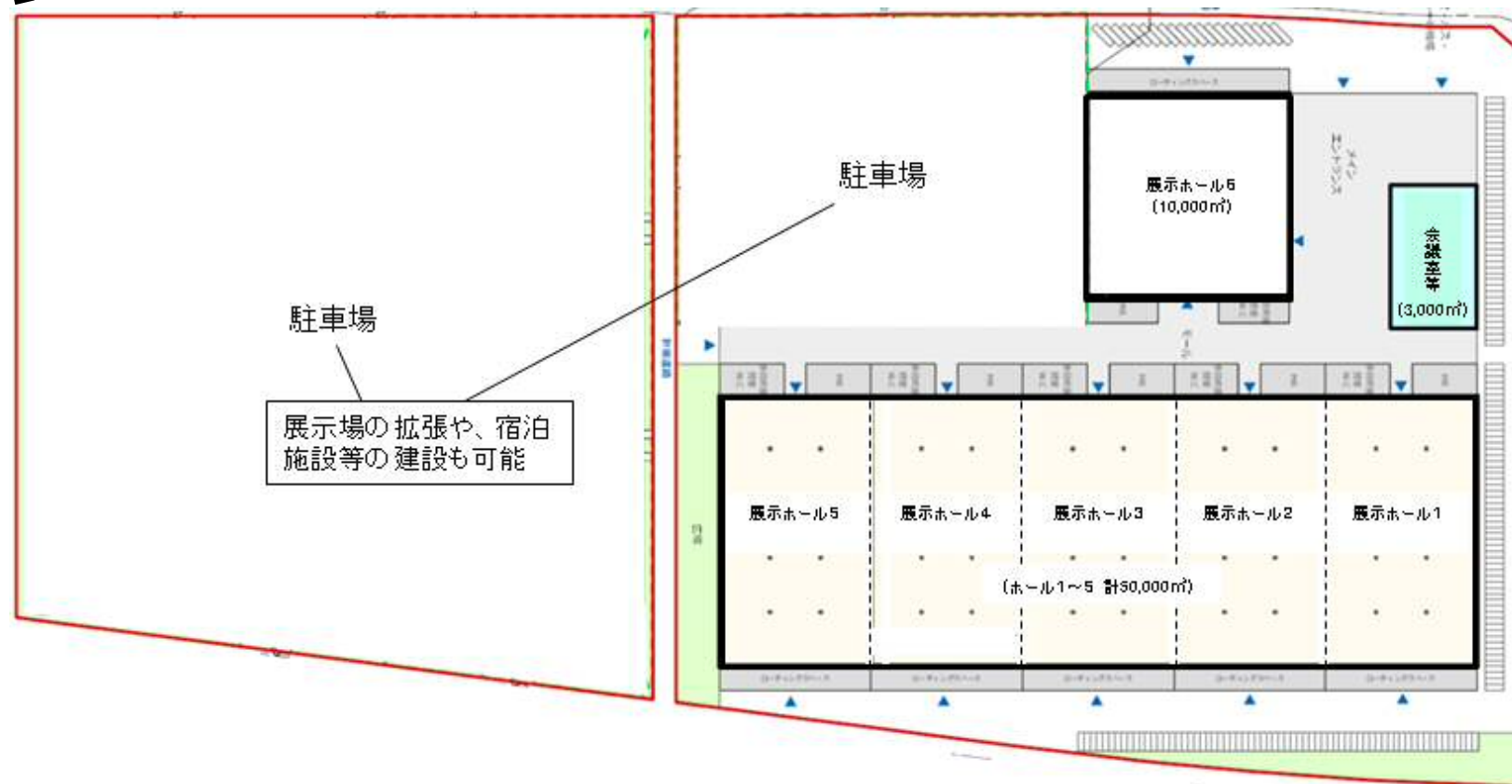
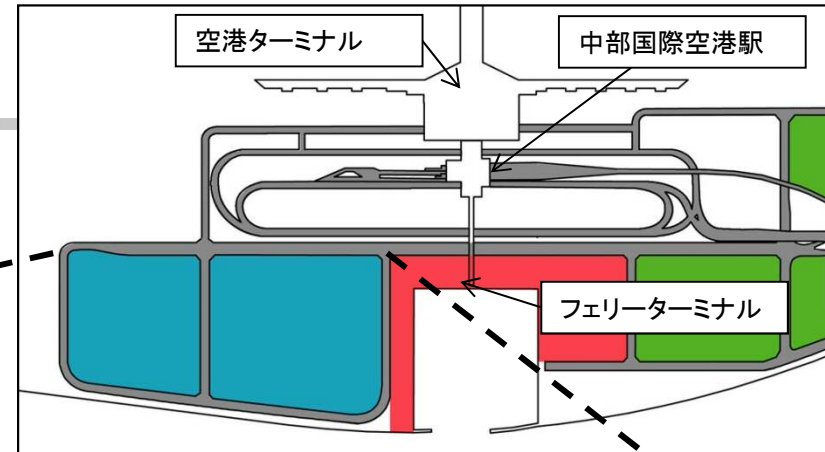
### <建設予定地の現況>

所在地	空港島(常滑市)
敷地面積	28.7ha
所有者	愛知県企業庁
鉄道アクセス	名鉄 中部国際空港駅直結
道路アクセス	セントレア東ICすぐ

写真: 中部国際空港



### ③施設配置イメージ図



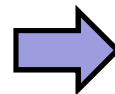
## ④運営方針

- 国内有数の大規模展示場となるため、ローコストオペレーションを徹底するとともに、新たな展示会の誘致・企画立案を行える国内外の専門的な民間事業者と連携した「公設民営方式」を前提として引き続き検討
- 名古屋市の国際展示場である「ポートメッセなごや」は、第1展示館の移転・拡張構想があり、将来的には、本県が整備する大規模展示場と合わせて、中京大都市圏として10万㎡規模の展示面積を有することになるため、大規模展示会の一体的な開催などにより相互の補完関係を構築していくことで、当地域において相乗効果を図っていく。

### <ポートメッセなごやについて>

(現状)

	展示面積	開業年
第1展示館	13,870㎡	1973年
第2展示館	6,576㎡	1987年
第3展示館	13,500㎡	1993年
計	33,946㎡	



(第1展示館の移転・拡張構想)

	展示面積
第1展示館	20,000㎡
第2展示館	6,576㎡
第3展示館	13,500㎡
計	約40,000㎡

本県が整備する  
展示場と合わせると  
10万㎡規模

### (3) 技能五輪国際大会の誘致に向けて

- 大規模展示場の整備により、2020年代初頭の技能五輪国際大会の誘致に向けて、第一歩を踏み出すことができる。
- 大規模展示場の活用を含め、競技会場等について、今後同大会の誘致に向けた取組の中で検討していく。

#### <技能五輪国際大会の近年の開催状況>

	イギリス(第41回)	ドイツ(第42回)	ブラジル(第43回)
開催時期	2011年10月	2013年7月	2015年8月
会場	エクセル・ロンドン	ライプツィヒメッセ	アニエンビパーク
競技面積	約9万㎡	約8万㎡及び屋外施設	約8万㎡及び屋外施設等
参加国・地域 職種/選手数	48カ国・地域 46職種/925名	52カ国・地域 46職種/986名	59カ国・地域 50職種/1,189名
来場者数	約20万人	20万人以上	20万人(計画数)

### 3 今後の方針

- 本県では、FCVの普及、MRJの開発生産、リニア中央新幹線の開業準備など重要プロジェクトを推進しており、さらに、ラグビーワールドカップ2019の開催支援、2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技招致及び合宿誘致、FIFAフットサルワールドカップ2020の招致など、世界中から人を惹きつけるためのイベントを控えている。
- 今後、本県への世界からの関心が高まっていく中、世界中から人を呼び込むことで、数多くのビジネスマッチングを生み出し、新たなイノベーションを引き起こす可能性を持つ当地域は、MICEの開催には最適地であると考えている。
- こうした強みを活かして、ゲートウェイであるセントレアに隣接した大規模展示場を整備し、国内外から多くの展示会を呼び込み、首都圏に並ぶ交流拠点を目指していきたい。

#### <平成28年度当初予算>

- 施設整備の仕様や業者選定基準等の検討・設定、測量等の事前調査や運営体制構築の検討に係る予算を提案。